

スーパーシティ／スマートシティにおける データ連携等に関する検討

越塚登

東京大学大学院情報学環

「標準化すべきデータモデルの範囲」については、標準化＝相互運用性の基準を満たしたからこそ可能になる先進的な事例のために必要な範囲が、高い優先順位を持つ。また、それらの事業を先進的事业に含め、都市単独でできない場合は、連携を別途支援する。

API／データのオープン化・標準化で可能になる取組み事例

1. 都市サービス開発の市民参画（Open API、Open Data の活用）
2. 都市サービスの事業統合（事業間の API-Data 連携）
3. 他の都市の都市サービス間連携（都市間の API-Data 連携）
4. 既存の他の都市サービスの低コスト移植（高水準 API-Data を用いたソフトウェア移植）
5. スーパーシティ／スマートシティ共通サービスへの組込み（例：スーパーシティダッシュボード）（都市間の API-Data 連携）

等

！ ここにないものでも、上記原則に沿うものを取り扱う。